



年次報告書

Annual Report 2019

大阪医科大学

Osaka Medical College

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

TEL 072-683-1221 (代表)

2-7 Daigakumachi, Takatsuki, Osaka 569-8686

<https://www.osaka-med.ac.jp/>

<https://www.osaka-med.ac.jp/en/>

中山国際医学医療交流センター

Nakayama International Center for Medical Cooperation

TEL 072-683-1221 (代表)

<https://www.osaka-med.ac.jp/nicmc.html>

中山国際医学医療交流センター

Nakayama International Center for Medical Cooperation



INDEX

03

はじめに

04

ビジョン

05

事業概要

06

交流校一覧

08

2018年交流実績

09

中山国際医学医療交流センター 構成

10

各教室・部署協力教員(窓口担当者)

はじめに



中山国際医学医療交流センターは医学教育、研究、医療技術の国際交流を目的として平成10年1月に設立されました。センターの名称に「中山」とあるのは、本学出身の中山太郎先生を顕彰するものです。先生は長年にわたって外務大臣として活躍され、その他にも多くの業績を挙げてこられました。その名に恥じないような活動を推進することがセンターの使命です。これまで、海外の大学、研究機関、病院などと、学部学生の学生交流、大学院生や教職員の学術交流、国際シンポジウムの開催など多岐にわたる交流をすすめています。

今後とも当センターにご協力いただき、グローバル化に向けた活動を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

今、日本の大学は、学術の場として国際的な関係が問われています。一部の大学は、先端科学を志向して、世界の科学技術をリードする研究を行おうとしています。一方で、地域の学びの中心として立脚し、国際性を掲げながら研究と人材育成を展開している大学もあります。大阪医科大学(以下、本学)は、このような状況の中で、自らに必要な国際化のポリシーを打ち出します。本学は、人材養成を最優先事項とし、質・量ともに充実した教育を行い、豊かな教養と確かな専門的知識と技能、広い視野と総合的な判断力、優れたコミュニケーション能力に加え、自立性と国際性を備えた人間を養成し社会に輩出することを使命としています。教育と研究の特性を生かした大学の国際化を推進し、学生と教員の国際性を高めて、地域社会の活性化に貢献します。

このビジョンは、本学の基本的なスタンスとともに、そのために必要な国際化の意義を示すものです。近年、我が国では、グローバル化が浸透し、人口減少と超高齢化に晒されるようになりました。我が国の大学では、海外へ留学する日本人学生数、及び海外からの留学生数が減少する傾向を見せています。語学力とコミュニケーション能力を持つこと、異文化の相互理解など、本学が国際性の追求のもとに培うべき要素は、以前より重要度が増しています。

教育面においては、本学学生に対して、国内と海外の事情に通じ、英語をはじめとする外国語のコミュニケーション能力を研鑽する機会と、実際に海外で学習する機会を可能な限り与えます。外国人留学生に対しては、日本事情に通じる学習機会を与えます。そして留学生が日常生活と修学で困難に陥らない環境を作り、本学学生と一緒に学習し、地域の医療機関や住民と交流する機会を設けます。

今後においては、本学の学生が、留学に関する各種の支援を受けて、海外で学びやすい環境で修学し、語学や文化の理解のもとに、国際化に関係するコミュニケーション能力を高め、気概とやりがいを持って、留学に挑戦出来る環境作りを益々発展させます。

外国人留学生に対しては、組織的な支援体制のもとに、安心して勉学し先進知識を旺盛に吸収し、本学で学んだ専門性と国際性を生かして、地域や母国の発展に貢献出来るようにします。また、修了後も、自ら本学の教育研究活動に協力するようになることを目指しています。

世界で活躍できるグローバル医療人の育成のため、医学部・看護学部学生の海外研修プログラムを実施しています。

学生海外派遣



日本の医療教育を発信のため、世界各国から医学部生、看護学部生の受入れプログラム実施しています。

留学生受入れ



グローバル 人材育成



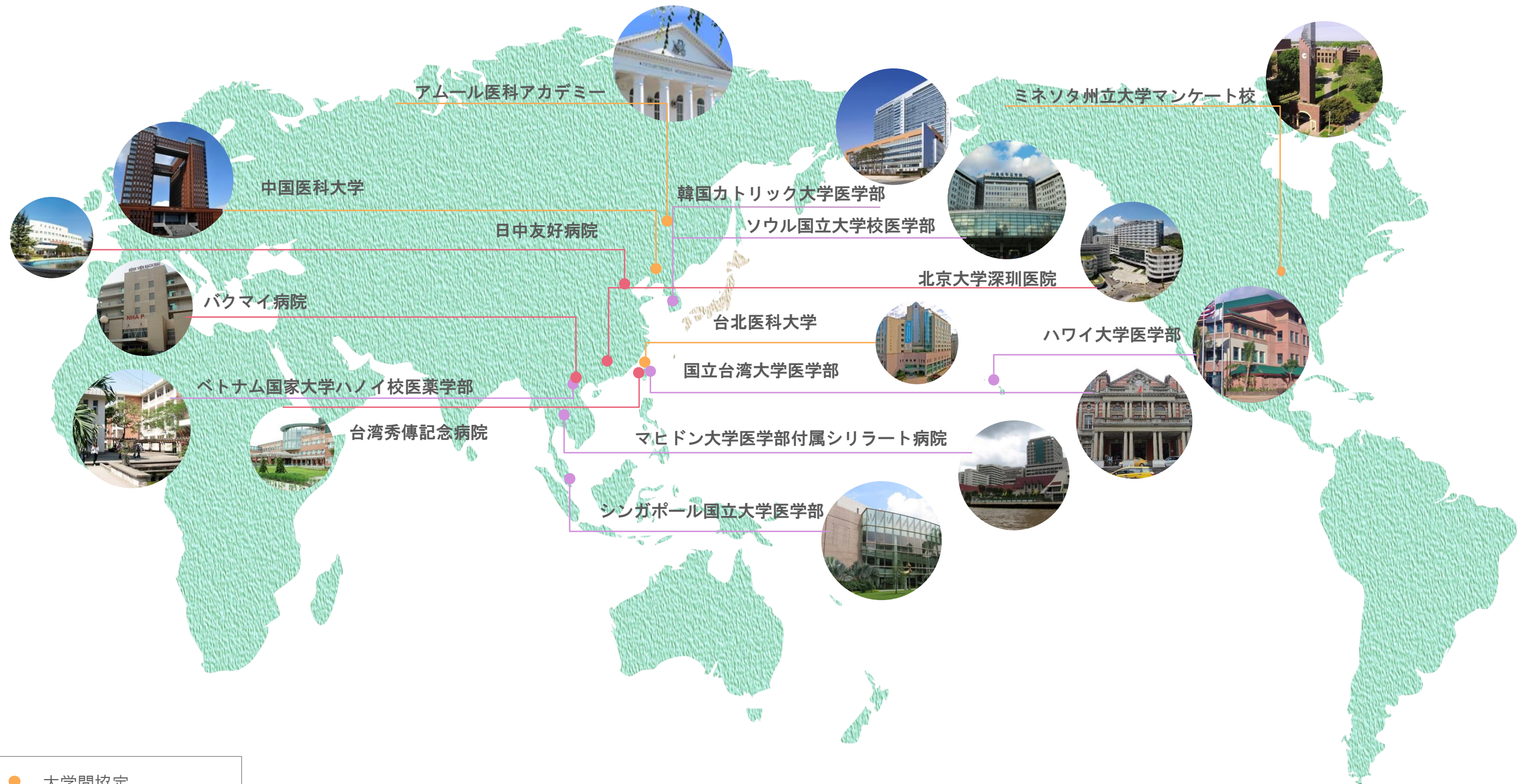
研究者支援

海外交流支援制度を設け、本学の研究者と海外研究者の支援を行っています。



グローバルネットワーク 構築

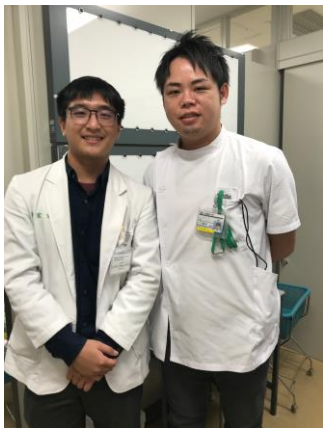
世界をけん引する医療者育成のため、アジアの大学を中心に医療教育、研究のネットワーク構築を行っています。



- 大学間協定
- 部局間協定（医学部）
- 施設—大学間

医学部

医学部臨床実習(Clinical Electives)			
国名・地域	大学名	受入	派遣
アメリカ	University of Hawaii	5	0
ロシア	Amur State Medical Academy	2	0
タイ	Mahidol University	1	1
韓国	Catholic University of Korea	(2)	1
	Seoul National University	0	1
シンガポール	National University of Singapore	(1)	2
台湾	National Taiwan University	2	2
ドイツ	Ludwig-Maximilians-Universität-München	1	0
合計		11+(3)	7



その他短期派遣プログラム				
国名・地域	大学名		受入	派遣
アメリカ	University of Hawaii	春夏ワークショップ	0	6
合計			0	6

その他国際交流

JSTさくらサイエンスプラン

「アジア高齢者社会における口腔内細菌叢ゲノム解析と循環器疾患予防プログラム」
国立台湾大学歯学研究科 大学院生5名 / 教員1名

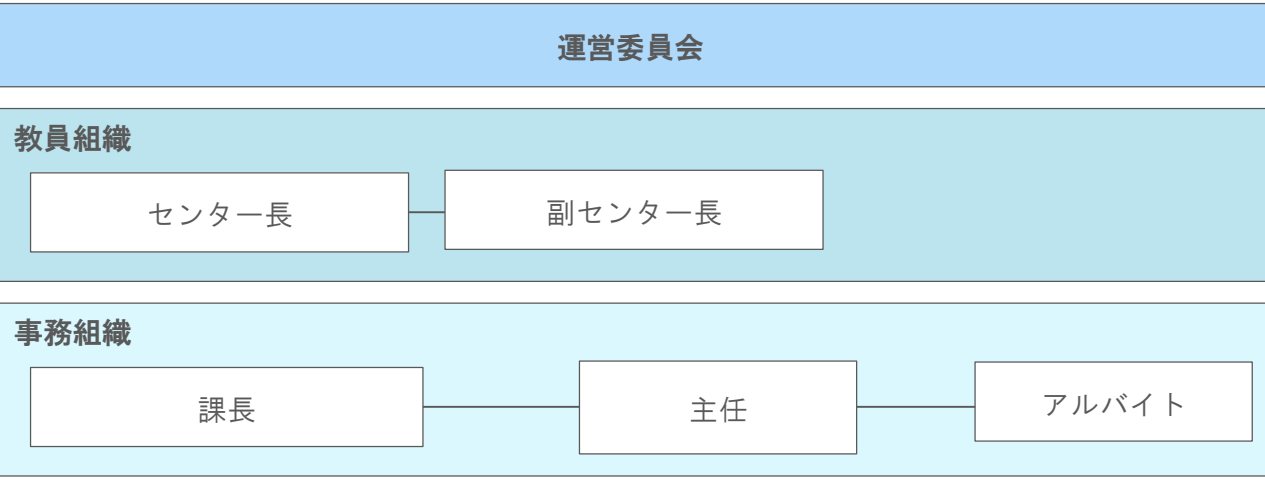


看護学部

看護学部短期研修			
国名・地域	大学名	受入	派遣
アメリカ	Minnesota State University, Mankato	0	3
台湾	Taipei Medical University	10	(4)
合計		10	3+(4)

注:()内の数字は2020年2月にコロナウィルス拡大を受けて受け入れ/派遣が中止となった人数。

中山国際医学医療交流センター



運営委員会委員		
	氏名	所属・職位
委員長	植野 高章	中山国際医学医療交流センターセンター長、口腔外科学教授
委員	内山 和久	附属病院 病院長
委員	大槻 勝紀	医学部長、学長
委員	河田 了	医学教育センター長、耳鼻咽喉科学/頭頸部外科学教授
委員	近藤 洋一	中山国際医学医療交流センター副センター長、解剖学教授
委員	赤澤 千春	看護学部長
委員	佐々木 綾子	看護学部教育センター長、母性看護学/助産学教授
委員	鈴木 久美	看護学実践研究センター長、看護実践発展学教授
委員	朝日 道雄	薬理学教授
委員	小野 富三人	生理学教授
委員	石坂 信和	内科学Ⅲ教授
委員	池田 恒彦	眼科学教授
委員	米田 博	神経精神医学教授
委員	藤枝 美穂	言語学(英語)教授
委員	近藤 恵	中山国際医学医療交流センター副センター長、心理学講師



教室名	職位	氏名
内科学Ⅰ	講師	寺前 純吾
	助教	忌部 尚
内科学Ⅱ	助教	太田 和寛
	講師(准)	紀 貴之
内科学Ⅲ	講師	伊藤 隆英
内科学Ⅳ	教授	荒若 繁樹
神経精神医学	講師	金沢 徹文
一般・消化器外科学	特別任命教員教授	田中 慶太郎
	講師	朝隈 光弘
	講師	富山 英紀
脳神経外科学	助教(准)	竹内 孝治
胸部外科	助教	神吉 佐智子
整形外科	助教	藤城 高志
小児科学	助教	松村 英樹
産婦人科学	講師	恒遠 啓示
	講師	佐々木 浩
眼科学	教授	池田 恒彦
耳鼻咽喉科学	講師	乾 崇樹
	講師	東野 正明
皮膚科学	助教	兪 明寿
放射線医学	教授	鳴海 善文
リハビリテーション医学	講師	仲野 春樹
口腔外科学	講師	中野 旬之
救急医学	教授	高須 朗
	講師	新田 雅彦

教室名	職位	氏名
解剖学	教授	近藤 洋一
生理学	講師	佐々木 真理
薬理学	助教	森原 啓文
総合診療科	教授	鈴木 富雄
輸血室	准教授	河野 武弘
微生物学	教授	中野 隆史
化学療法センター	准教授	後藤 昌弘
法医学	教授	鈴木 廣一



<https://www.osaka-med.ac.jp/nicmc.html>